

第332回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成28年10月24日(月)午前11時00分より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 9人 出席委員 8人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
山本 健一	委員	春日 貴光	委員
原田 健一	委員	大久保 千春	委員
田村 明子	委員	尾畑 留美子	委員

会社側出席者

代表取締役会長	室川 治久
代表取締役社長	務台 昭彦
常務取締役 編成担当	須佐 博樹
取締役報道制作局長	平野 真一
執行役員編成局長兼番組審議会事務局長	稲田 裕之
報道制作局制作部長	羽田 朗
報道制作局 合評番組プロデューサー	須山 司
事務局	山崎 学
	水野 明子
	吉田康宏

4 議 題

1) 番組合評

「ポセイドン リオに燃ゆ

“水球戦士” 未来につなぐパス」

[放送：平成 28 年 9 月 17 日（土）10:00-10:30]

(説明：番組プロデューサー 須山 司)

2) 会社報告

① 9 月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

② 講じた措置、公表など定例報告等 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要

会社側からは、地方局で制作するにはブラジルでの取材を含め、制約が多く難しい題材であった。地方局がオリンピックの取材を行うのは厳しく、今回は応援団に同行する形で取材を行ったが、選手との接触が制限されることや試合映像の規制など厳しい中の取材だった。「柏崎という地域」と「志水キャプテン」のどちらに焦点をあてるか迷ったが、今まで取材してきた内容とオリンピックに取材に赴いたことから「志水キャプテン」を選択し、「志水キャプテンの想い」に集中した番組を制作した、という説明があった。

(委員の意見)

- オリンピックを取り上げた番組が民放で多くあったが、ピカイチではなかったかと思う。
- 取材等で厳しい規制があるとは分からない位、流れがあって

良かった。志水キャプテンの成長も見る事が出来、一気に見る事が出来て感動をもらった。

- 結果、全敗だったのでどんな番組になるのか心配だったが良くできていた。負けたけれども前向きに進もうとする気持ちが見える番組となっていた。地元や他の選手の想いなども視点を広げて今後は伝えて行って欲しい。
- 志水選手や青柳監督の人的魅力があって、地元出身ではないが応援したい気持ちになった。
- 地域に根差した視線が必要だとすると柏崎市に焦点を当てた方が良かったのではないか。志水キャプテンに焦点を当てるのであればもっと熊本での取材をすべきではなかったか。
- 志水選手以外の選手も取り上げられたら深みが出たのではないか。そうすることで柏崎市が水球を支えている感が見られたのでは。試合が全敗だった分析などもあった方が良かった。
- 30分があつという間で、60分であればもっと深くなったのではないかと思った。マイナーなスポーツがどのように成長していくのかを見られたら良かった。試合の映像が長く感じた。その分チーム全体を取り上げたら良かったのではないか。
- チームスポーツの中で一人だけ取り上げるのは難しいのではないか。一人を取り上げるのであればもっと掘り下げるべきではなかったか。そういった点から柏崎は「水球の町」であることをもっと取り上げればよかったのでは。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

9月 …… 41件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成28年9月26日)から昨日(平成28年10月23日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

- 1) 前回第331回審議会では、「こんげトコに新潟人SP 感涙のグルメ編」を審議いただきました。委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。
- 2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第332回放送番組審議会の公表

- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
- 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。
- 3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

- ・9月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・民間放送新聞(9/23、10/3、13号)
- ・BPO報告 NO.166

以上